



Be Creative!



また今日も己を探す—新美南吉

半田市岩滑周辺の彼岸花の開花が残暑により遅れているという。9月27日の中日新聞朝刊に「草稿も魅力『ごんぎつね』と題する記事が掲載され、一人の元教員の方の取り組みが紹介されていた。小学校4年生の国語の教科書に長年採用され、7千万人以上が読んだと言われる「ごんぎつね」。皆さんもご存じのように、彼は現在の半田市岩滑界隈で生まれ育っている。

もう26年も前のことになる。本校は隔週土曜日に「土曜講座」なるものに取り組んでいた。半期を一つの周期として、教師が「これに取り組みたい」と思うことを生徒に提示し、生徒たちはその講座を自由に選択し、多彩な学びに取り組んだ。私は自身の講座を「新美南吉文学散歩」と名付け、毎回、半田岩滑界隈のフィールドワークに出かけた。その活動の中で、偶然にも南吉の教え子という方に出会う。話し好きの好々爺で、私たちが南吉の研究をしていると知ると、その方から話しかけてきてくださった。南吉は地元岩滑の小学校で代用教員として勤めていたのだ。「先生は優しい人だった。雨が降って、体育ができなくなると、よく自分の作った物語を語って聞かせてくださった。『ごんぎつね』も話して聞かせてくれて、自分たちが『ここはもっとこうした方がいい。』なんて言うと、『ああ、そうだね。』と自分たちの意見に耳を傾けてくれて、書き直したりしてくださった。」

やがて、この「ごんぎつね」は児童雑誌『赤い鳥』に掲載され、「ごん狐」のタイトルで世の中に発表される。その時に、この『赤い鳥』を主宰していた鈴木三重吉が、南吉の草稿に手を入れたことを、この講座の取り組みの中で知ることになる。実際に南吉の草稿と、『赤い鳥』に発表された「ごん狐」を比較してみるといくつかの違いがあることがわかった。ひとつ例を挙げれば、物語の最後のところだ。皆さんが教科書等で読んだ作品はこうなっている。「ごんは、ぐったりと目をつぶったまま、うなずきました。」ところが、草稿は「権狐は、ぐったりとなったまま、うれしくなりました。」この変化を「感情表現を削ることで多様な読みが生まれ、作品の文学性を高めている」と、新美南吉記念館の元館長であられた山本英夫さんは評する。

当時、私も生徒たちと共に、草稿と『赤い鳥』に掲載された彼の文章を比較して読み、鑑賞をした。私たちが最も注目したのは、草稿にはなかった「つぐない」という言葉が鈴木三重吉によって付け加えられたことである。場面は兵十の母親が亡くなった後、ごんがいわし売りのかごから5、6匹のいわしをつかんで、自分と同じく一人ぼっちになった兵十の家に投げ込んだ場面のあとである。井戸のところで麦を研いでいる兵十の後ろ姿を見て「ごんは、うなぎのつぐないに、まず一つ、いいことをしたと思いました。」と『赤い鳥』の文章ではなっている。草稿の方は「権狐は何かいいことをしたように思いました。」となっている。皆さんはどのような印象をもたれるであろうか。この作品の

読み手の多くは小学生中学年である。その児童たちにこの「つぐない」という語句があるのとないのとでは、どのような印象の違いをもたらすのか。新聞記事を読み、当時のことにしばし思いを馳せることとなる。



「子どもの哀しみを哀しみとして受け止め、それを文学作品に描いた人」、これが当時の私の新美南吉像だった。なぜ、「ごんぎつね」はハッピーエンドで終われなかったのか、一人ぼっちのごんと、一人ぼっちになってしまった兵十は、心が通いあうその一歩手前で、なぜ別れなければならなかったのか。南吉が歩んだ人生と重ね合わせ、生徒たちと語り合ったことを思い出す。

「よのつねのよろこび悲しみのかなたに、ひとしれぬ美しいもののあるを知っている悲しみ。その悲しみを生涯うたいつづけた」—南吉の言葉である。南吉は河和小学校にも代用教員として勤務した経験を持つ。「名誉などいらぬ。このままこの海を見下ろす美しい小学校で教員をされていたらとつくづく思うことがある」—これもまた、南吉の言葉である。



ここからは中学生の皆さんへ！

10月5日(土)は本校の第4回公開見学会です。今回の公開見学会では部活動体験と共に、本校の特色ある学びを中学生の皆さんに体験してもらう予定でいます。授業のタイトルとその内容を簡単に紹介します。「授業体験」と言うと、少し緊張しますね。大丈夫ですよ。ぜひリラックスしてご参加ください。**中学生の皆さんのお申込み、待っています！あと一週間！部活動体験も最後となります！**

分野	授業のテーマ	授業での取り組みを紹介します
探究学習 GFS Global FUKUSHI Studies	いざという時の 私の選択・みんなの 選択 	本校はユネスコスクールとして ESD 教育を学びの基幹とし、持続可能な共生社会に貢献する人材を育成しています。今回は、総合進学コースの3年間の取り組みを紹介すると共に、2年生で取り組んでいる防災をテーマに授業を行います。災害が起こったときに私たちはどう自分たちの行動を決めていけばよいのか、ゲームを体験しながら、一緒に考えましょう！
スポーツコース の学び 	見て！ 聞いて！ 体験しよう！ 持ち物 体操服 体育館シューズ	スポーツコースの3年生によるバスケットボールの模擬授業をおこないます。バスケットボール競技に必要なウォーミングアップ、トレーニング、実践練習など普通の体育の授業では体験できない内容が盛りだくさん！当日は、中学生に加えて男子バスケットボール部の部員がサポーターとして入ります。バスケットボールに興味がある人も、ぜひ参加してください。待っています！
グローバル英語 コースの学び	Enjoy ! English ! Enjoy ! Presentation !	グローバル英語コースの生徒は、毎年 WYM・ASEP という国際英語プレゼンテーション大会に参加します。今回は、中学生の皆さんに簡単な英語でのプレゼンテーションを体験してもらいます。実際にプレゼンテーション大会を経験した生徒や優しい教員のサポートもあります。一緒に楽しみましょう！
ICT を活用した 学び	プログラミング 体験	VBA(Visual Basic for Applications)を用いて簡単なゲーム作りを行います。プログラミングに関する知識は不要ですが、ある程度タイピングができることが必要になります。中学生の皆さん、待っています！ 

祝！ 吹奏楽部 日本管楽合奏コンテスト全国大会に出場決定！（@東京）